

2. 取組を進めるに当たり困難であった事例について

E. 学習・研究環境の改善

③昼夜開講、休日開講などによる社会人学生等への履修上の配慮

●千葉大学医学薬学府創薬生命科学専攻

「世界規模の治験・臨床研究を担う医療人育成」の事例

(具体的に何を実施し、何が困難であったのか)

本プログラムでは、社会人や外国人留学生も参加対象とした。外国人留学生は積極的に参加したが、社会人学生の参加はなかった。

(苦労したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか)

社会人学生が参加しなかった理由の一つは、講義の受講に関する彼らの時間的制約と思われる。

(どのように対応し、どのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか)

2回開催したシンポジウムへの参加者（主に、製薬企業の治験等関係者）アンケート結果からは、本プログラムに対する期待や要望は極めて高い。従って、社会人学生を受け入れるためのシステム構築が今後の課題であろう。